

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 (仮称)クレアホームズ平岸4-7 A棟

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数						
<b>Q 建築物の環境品質</b>														
<b>Q1 室内環境</b>														
<b>1 音環境</b>														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1.3 吸音														
<b>2 温熱環境</b>														
2.1 室温制御														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
<b>3 光・視環境</b>														
3.1 屋光利用														
3.2 グレア対策														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
<b>4 空気質環境</b>														
4.1 発生源対策														
4.2 換気														
4.3 運用管理														
<b>Q2 サービス性能</b>														
<b>1 機能性</b>														
1.1 機能性・使いやすさ														
1.2 心理性・快適性														
1.3 維持管理														
<b>2 耐用性・信頼性</b>														
2.1 耐震・免震														
2.2 部品・部材の耐用年数														
2.4 信頼性														
<b>3 対応性・更新性</b>														
3.1 空間のゆとり														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 (仮称)クレアホームズ平岸4-7 A棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	重点評価項目				建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体				
	A	B	C	D				評価点	重み係数	評価点	重み係数
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>											
1 生物環境の保全と創出											
2 まちなみ・景観への配慮											
3 地域性・アメニティへの配慮											
3.1 地域性への配慮、快適性の向上											
3.2 敷地内温熱環境の向上											
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>											
<b>LR1 エネルギー</b>											
1 建物外皮の熱負荷抑制											
2 自然エネルギー利用											
3 設備システムの高効率化											
3.1 集合住宅以外の評価(3a.3b)											
3.2 集合住宅の評価(3c)											
4 効率的運用											
4.1 集合住宅以外の評価											
4.1.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
4.1 集合住宅の評価											
4.1.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
<b>LR2 資源・マテリアル</b>											
1 水資源保護											
1.1 節水											
1.2 雨水利用・雑排水等の利用											
1.2.1 雨水利用システム導入の有無											
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無											
2 非再生性資源の使用量削減											
2.1 材料使用量の削減											
2.2 既存建築躯体等の継続使用											
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用											
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用											
2.5 持続可能な森林から産出された木材											
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み											
3 汚染物質含有材料の使用回避											
3.1 有害物質を含まない材料の使用											
3.2 フロン・ハロンの回避											
3.2.1 消火剤											
3.2.2 発泡剤(断熱材等)											
3.2.3 冷媒											
<b>LR3 敷地外環境</b>											
1 地球温暖化への配慮											
2 地域環境への配慮											
2.1 大気汚染防止											
2.2 温熱環境悪化の改善											
2.3 地域インフラへの負荷抑制											
2.3.1 雨水排水負荷低減											
2.3.2 汚水処理負荷抑制											
2.3.3 交通負荷抑制											
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制											
3 周辺環境への配慮											
3.1 騒音・振動・悪臭の防止											
3.1.1 騒音											
3.1.2 振動											
3.1.3 悪臭											
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制											
3.2.1 風害の抑制											
3.2.2 砂塵の抑制											
3.2.3 日照障害の抑制											
3.3 光害の抑制											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策											
3.3.2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策											